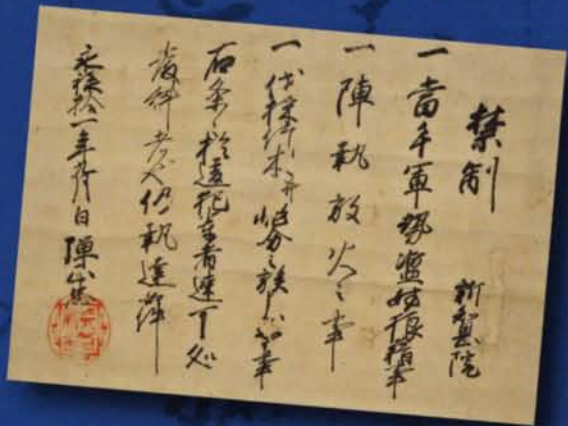
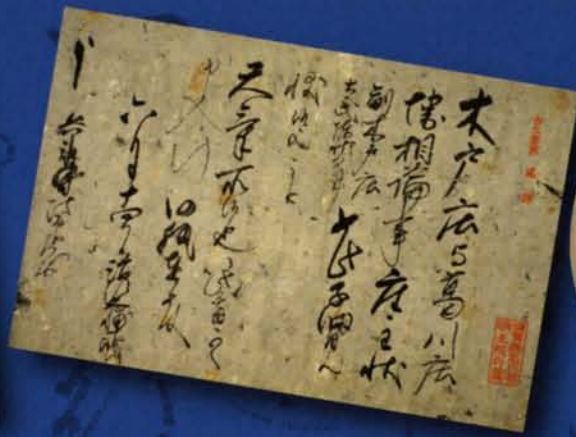




湖都大津の こもんじよ学

企画展

国宝7点、重要文化財36点を含む古文書を一堂に！

平成26年 3月1日[土] - 4月13日[日]

小・中学生 無料

前期展示 3月1日(土) ~ 3月23日(日)、後期展示: 3月25日(火) ~ 4月13日(日)

【開館時間】午前9時から午後5時(入場は午後4時30分まで)

【主催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞

【観覧料】一般: 800円(640円) 高・大学生: 400円(320円)

【後援】NHK 大津放送局・FM 湖放送・radio

【休館日】月曜日

※()内は、前売り、15名様以上の団体割引、または大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障害者の方の割引料金(証明書等をご提示下さい)。

※前売り券は、大津市観光案内所(JR大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード59203)をはじめ、京阪津地区の主なプレイガイドで2月14日から3月23日まで発売。

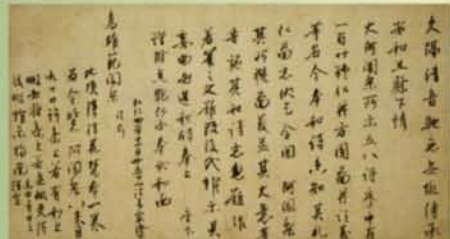
大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
TEL 077-521-2100 <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>

1 古文書が語る大津の歴史

仏教の聖地(平安・鎌倉時代)、戦乱につぐ戦乱(南北朝～安土桃山時代)、地域と寺社の復興期(江戸時代)、近代化と暮らしの変化(明治・大正・昭和)。これら大津の歴史を証言する古文書を紹介します！

仏教の聖地 大津



(平安時代・奈良国立博物館蔵・前期展示)

国宝

最澄直筆！
空海に宛てた手紙

大津の復興

重要文化財

大津の復興は山門とともに。豊臣秀吉も再建に協力！



(安土桃山時代・延暦寺蔵・前期展示)

古文書(こもんじょ)は、大きな意味では、「古くなった文書」のことを指します。そこに書かれているのは、過去の事件や出来事だけではありません。各時代の社会のしくみや人々の暮らしも、そこから読み解くことができます。ところが、これら古文書はグネグネとした字で書いていて、内容も難解でとても地味な文化財です。しかし、だからこそ味わい深く、引き付けて止まない魅力もあります。

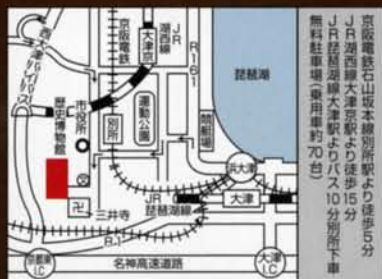
今回の展覧会では、そうした大津の歴史を明らかにする魅力ある古文書たちを一堂に展示し、文字や内容だけでなく、様々な角度から古文書を紹介。見方や鑑賞ポイントもお伝えします。初めて古文書を観るという方もご安心ください。歴史上著名な人物が、古文書の上で大集合します。最澄や円珍といった大津の仏教文化を語る上で欠かせない高僧たち、源義経や足利歴代将軍、織田信長や明智光秀、豊臣秀吉や徳川家康など戦乱で活躍した武士たち、ずっと後の明治時代では大津事件の津田三蔵などなど。彼らが大津に残した足跡を、古文書の文字や印章から感じ取ってください。

【その他の主な展示作品】

古代の家族構成は？(国宝 周防国玖珂郡玖珂郷延喜八年戸籍残巻 平安時代・石山寺蔵)
サインは古文書の先頭には？(重要文化財 無動寺寺務袖下知状 鎌倉時代・葛川明王院蔵)
紙で受け継がれる祈りの声(重要文化財 声門口伝 鎌倉時代・三千院蔵)
足利尊氏・直義兄弟の立派な花押(足利尊氏寄進状・足利直義下知状 南北朝時代・園城寺蔵)
木戸表合戦の戦功を称える光秀書状(重要文化財 明智光秀書状・革繪家文書 戦国時代・京都府立総合資料館蔵)
棧地・宗門改め・触れ書から江戸時代の支配のしくみがわかる(滋賀郡本堅村棧地帳 江戸時代・伊豆神社蔵、ほか)
最初は大津県でした(県指定文化財 県名改称の達 明治時代・滋賀県蔵)

【チラシ表の古文書】

左側上より、国宝 智証大師関係文書典籍のうち受戒公験(平安時代・園城寺蔵・後期展示)、織田信長朱印状(戦国時代・新知恩院蔵)、市指定文化財 明智光秀書状(戦国時代・個人蔵)、浦役米請取状(江戸時代・尾花川親友会蔵)中央上、重要文化財 伏見天皇輪旨(鎌倉時代・葛川明王院・後期展示)右側上より、市指定文化財 墨画土器(平安時代・上仰木遺跡出土・大津市教育委員会蔵)、市指定文化財 豊臣秀吉朱印状(安土桃山時代・個人蔵)、重要文化財 室町幕府奉行人連署制札(戦国時代・葛川明王院蔵)、大津事件記録・訴訟記録(明治時代)



企画展

湖都大津のこもんじょ学

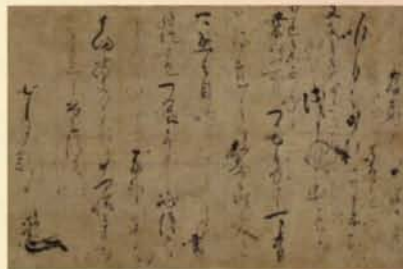
2

湖都大津のこもんじょ学 ～見る・知る・学ぶ・伝えてゆく～

古文書も見方を変えれば意外な面白さが！
「はじまる」「まもる」「ちかう」「かさなる」などの視点から読めなくても楽しめる多彩な古文書の横顔を魅せます！

大津ではじまる

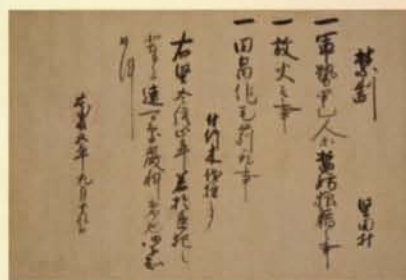
日本古文書学は大津で始まった？
大津出身の古文書学者が蒐集した古文書の世界



(中村直勝博士旧蔵 伊達政宗書状 安土桃山時代・大和文華館蔵)

大津をまもる

たった一枚で地域や寺院を守ります。
関ヶ原合戦直後の徳川家康の禁制



(安土桃山時代・個人蔵)

大津でちかう

お願いごとと命がけ。
牛玉宝印の護符の裏に記された誓いの言葉！



(室町時代・園城寺蔵)

大津でかさなる

書き継がれ蓄積される！
宗派を超えて大津町の寺々が書き継いだ記録



(江戸時代・普通寺蔵)

企画展関連講座

■3月15日(土)14:00～15:30

中世の古文書にみる大津(下坂守・京都国立博物館名誉館員)

■3月22日(土)14:00～15:30

石山寺校倉聖教とその修理(藤田勉夫・文化庁美術学芸課文化財調査官)

■4月5日(土)14:00～15:30

未公開大津事件資料の全貌(橋爪修・本館館長)

■4月12日(土)14:00～15:30

江戸時代における文書作成と印鑑(東谷智・甲南大学教授)

※この他にも3回連続の古文書入門講座もあり。いずれも有料で事前申込み必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
TEL 077-521-2100 <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>